

1 単元の目標

(1)	(2)	(3)
鉄筋コンクリート構造について各部の名称、構成及び機能を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	鉄筋とコンクリートの性質や施工法に着目して、鉄筋コンクリート構造に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善する。	鉄筋コンクリート構造について自ら学び、安全で安心な建築物の構造の実現に主体的かつ協働的に取り組む。

2 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
鉄筋コンクリート構造について各部の名称、構成及び機能を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	鉄筋とコンクリートの性質や施工法に着目して、鉄筋コンクリート構造に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。	鉄筋コンクリート構造について自ら学び、安全で安心な建築物の構造の実現に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画（40時間）

本単元「鉄筋コンクリート構造」は、8つの小単元による構成として計画し、各小単元におけるねらい・学習活動及び評価の観点は次のとおりである。

時間 (次)	◆：小単元名 ○：指導のねらい・学習活動	評価の観点		
		知	思	態
29～35 【7時間】	◆仕上げ ○内部仕上げについて各部の名称、機能を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ○外部仕上げの性質や施工法に着目して、外部仕上げに関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善する。 ○階段・開口部について自ら学び、安全で安心な建築物の構造の実現に主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○
36～37 【2時間】	◆壁式構造 ○ラーメン構造と壁式構造の違いに着目し、課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善する。 ○耐力壁について、構成及び機能を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	○	○	
38～40 【3時間】	◆プレストレストコンクリート構造 ○プレストレストコンクリート構造について機能を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ○プレストレストコンクリート構造の性質や施工法に着目して、プレストレストコンクリート構造に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善する。	○	○	